

7 防耐火認定

7-1. 建築基準法の制限

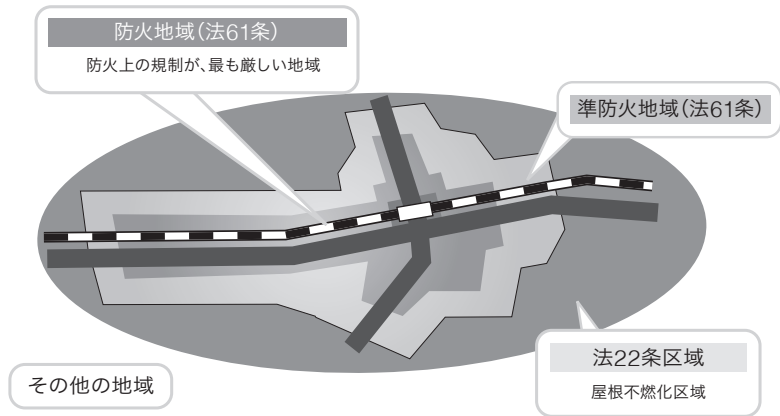
ご検討の際は最新の建築基準法をご確認いただくようお願いします。

●地域の制限

建築基準法では、個々の建築物の火災の延焼を防止するために、屋根の不燃化を規定する条文（法第22条）を定めています。

それに伴い、市区町村等は告示により法22条に基づく地域（法22条区域）を指定することができます。

また、都市計画により市街地における火災の拡大を防ぐために、大きな都市の駅周辺など、建築物が密集している地域を防火地域、その周囲に準防火地域が指定されており、各地域、規模及び用途などに応じ、建築物の防耐火構造が規定されています。



●外壁に求められる防耐火性能とアイジーサイディング認定取得範囲

商品により取得している認定番号が異なります。使用する商品の認定番号をご確認ください。
 なお、本外壁の性能は、「耐火建築物」「準耐火建築物（45分・60分）」「防火性能・準防火性能」を整理したものです。
 令136条の2に伴う延焼防止建築物・準延焼防止建築物等の性能規定による外壁については対象としていません。

■木造下地

用途	地域	延床面積 (S)㎡	階数	S ≤ 100	100 < S ≤ 500	500 < S ≤ 1000	1000 < S ≤ 1500	1500 < S ≤ 3000	3000 < S		
共同住宅	防火地域	3階建	1,2階建	耐火構造 (令136条の2、令107条)							
				45分準耐火構造 (令136条の2、令107条の2)							
	準防火地域	3階建	1,2階建	1時間準耐火構造 (法27条、告示255号、令112条)						耐火構造 (令136条の2、令107条)	
				防火構造 ^{※1} (令136条の2、令108条)	2階が300㎡以上 (法27条)	45分準耐火構造 (令136条の2、令107条の2)					
	22条区域	3階建	1,2階建	1時間準耐火構造 (法27条、告示255号、令112条)						耐火構造 (法21条2項、令109条の7)	
				準防火構造 ^{※1} (法23条、令109条の10)	45分準耐火構造 (法27条、令107条の2) 2階が300㎡以上				防火構造 ^{※1} (法25条、令108条)		
戸建住宅	防火地域	3階建	1,2階建	耐火構造 (令136条の2、令107条)							
				45分準耐火構造 (令136条の2、令107条の2)							
	準防火地域	3階建	1,2階建	準防火3階建仕様 (令136条の2、告示194号) 防火構造かつ屋内側に一定の防火被覆			45分準耐火構造 (令136条の2、令107条の2)		耐火構造 (令136条の2、令107条)		
				防火構造 ^{※1} (令136条の2、令108条)							
	22条区域	3階建	1,2階建	準防火構造 ^{※1} (法23条、令109条の10)				防火構造 ^{※1} (法25条、令108条)		耐火構造 (法21条2項、令109条の7)	

アイジーサイディングの認定取得範囲です。(銘壁は、木造下地45分準耐火構造認定を取得していません。)

SP-ガルスパンのみの認定取得範囲です。

※1 「延焼のおそれのある部分」のみが対象になります。「延焼のおそれのある部分」、「イ準耐」、「ロ準耐一号」、「ロ準耐二号」については、次のページを参照してください。

※2 防火区画と接する部分を含み幅90cm以上の部分を準耐火構造としなければなりません。(令112条)

※3 45分準耐火構造が必要な部分には使用できません。

・高さ16mを超えるもの(車庫、倉庫は高さ13mを超えるもの)、または階数が4以上の木造建築物は、地域にかかわらず1時間準耐火構造以上の性能が求められます。(法21条)

●防火区画

建築物内部で火災が発生したときに火災が急激に燃え広がることを防ぐため、建築物の構造、用途、規模に応じて防火区画が必要になる場合があります。

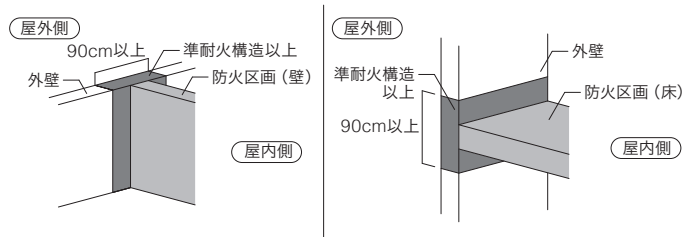
●代表的な例

耐火建築物または準耐火建築物で、延床面積が1,500m²を超えるものは、1,500m²以内ごとに防火区画を設けなければなりません。
(建基法令第112条第1項)

準耐火建築物の場合

防火区画に接する外壁は、接する部分を含む幅90cm以上の部分を**準耐火構造以上**にしなければなりません。
(建基法令第112条第16項)

■防火区画に接する外壁の構造



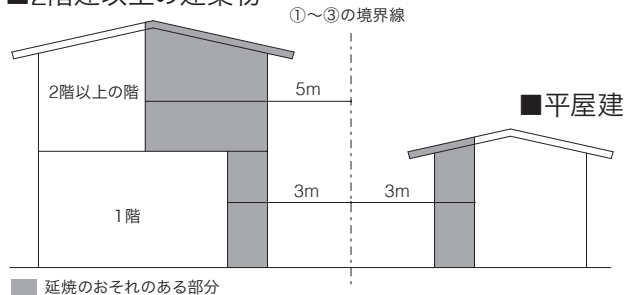
(注) 以上は、外壁のみに関する建築基準法の大まかな制限を表しています。建築基準法ではこれより詳細な制限を設けている条項があります。また、自治体の条例などで建築基準法より厳しい制限が設けられている場合がありますので、計画の際は前もって管轄の行政庁にご確認ください。

●延焼のおそれのある部分（法2条六号）

防火地域など各地域の指定は、火災が周囲に広がるのを防ごうとするもので、特に延焼のおそれのある部分については、防耐火構造が強化されます。

延焼のおそれのある部分とは、①道路中心線、②隣地境界線または③同一敷地内にある2つ以上の建築物（延床面積の合計が500m²以内であれば1つの建築物とみなされる）の相互の外壁間の中心線から、1階については3m以下、2階以上については5m以下の建築物の部分指します。但し、防火上有効な公園、広場や耐火構造の壁などに面している部分は除かれます。

■2階建以上の建築物



●耐火建築物、準耐火建築物の仕様

耐火建築物…主要構造部を耐火構造としなければならない建築物です。(法2条九の二号)

準耐火建築物…次の3種類のいずれかの構造としなければならない建築物です。(法2条九の三号、令109条の3)

①イ準耐(令107条の2)

主要構造部を準耐火構造としたもの

部位	延焼のおそれのある部分	その他の部分
壁	準耐火構造	
柱・はり	準耐火構造	
床	準耐火構造	
屋根	準耐火構造	
階段	準耐火構造	
開口部	防火戸など	—

②ロ準耐一号(令109条の3一号)

外壁を耐火構造としたもの

部位	延焼のおそれのある部分	その他の部分
壁	耐火構造	
柱・はり	—	
床	—	
屋根	準耐火構造など	不燃材料
階段	—	
開口部	防火戸など	—

③ハ準耐二号(令109条の3二号)

主要構造部を不燃材料または準不燃材料で造ったもの

部位	延焼のおそれのある部分	その他の部分
壁	防火構造+準不燃材料	準不燃材料
柱・はり	不燃材料	
床	準不燃材料(3階以上は準耐火構造など)※	
屋根	不燃材料	
階段	準不燃材料	
開口部	防火戸など	—

上表は、準耐火建築物の大まかな仕様であり、詳細は建築基準法をご確認ください。

※最下階の床は除く

せっこうボードについて

せっこうボードの目地部については、火災時の安全性向上のため、せっこうボードメーカーの推奨する適切な目地処理(乾式壁目地処理工法など)をお勧めします。

7. 防耐火認定

7-2. 防耐火構造認定

木造軸組

認定番号:QP020BE-0038

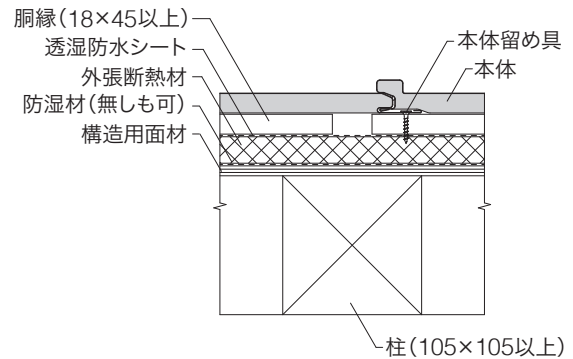
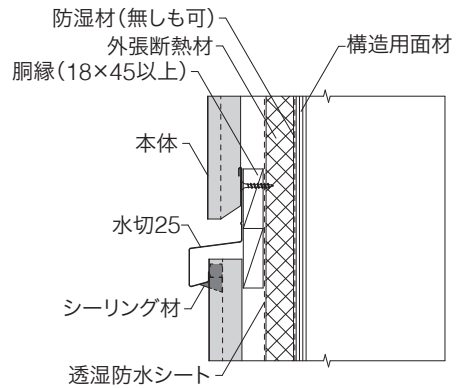
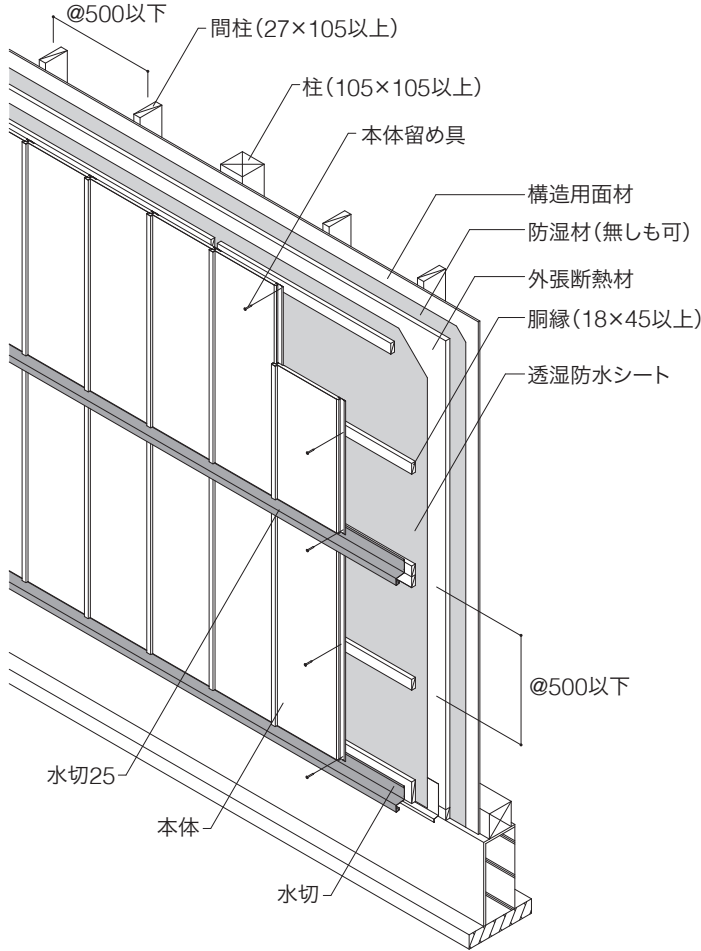
準防火

通気

外張断熱

ボード状断熱材の外張断熱工法に対応した準防火構造認定です。
せつこうボードなどの、内装材の制限がありません。真壁（内装側）にも対応します。

単位:mm



本体留め具	スクリークぎまたはリングくぎ	φ2.15×L38以上	
	ねじ	φ3.1×L22以上	
外張断熱材	発泡プラスチック系 ①フェノールフォーム保温板 ②押出法ポリスチレンフォーム保温板 ③硬質ウレタンフォーム保温板など	厚さ20mm以上105mm以下	
	無機系 ④グラスウール保温板 ⑤ロックウール保温板		
構造用面材	構造用合板	厚さ7.5mm以上	構造用面材用留め具 くぎまたはねじ(φ1.90×L32以上) 留め付け間隔 外周部150mm以下、中間部等200mm以下
	構造用パネル(OSB)	厚さ9mm以上	
	火山性ガラス質複層板HⅢ(JIS A 5440:2003)	厚さ9mm以上	
	MDF	厚さ7.5mm以上	
	パーティクルボード	厚さ9mm以上	
内装材	内装フリーに対応しています。		
備考	縦継ぎ部にアルミ縦用スターター25を使用すると防耐火構造認定の対象外となります。		

7. 防耐火認定

木造軸組

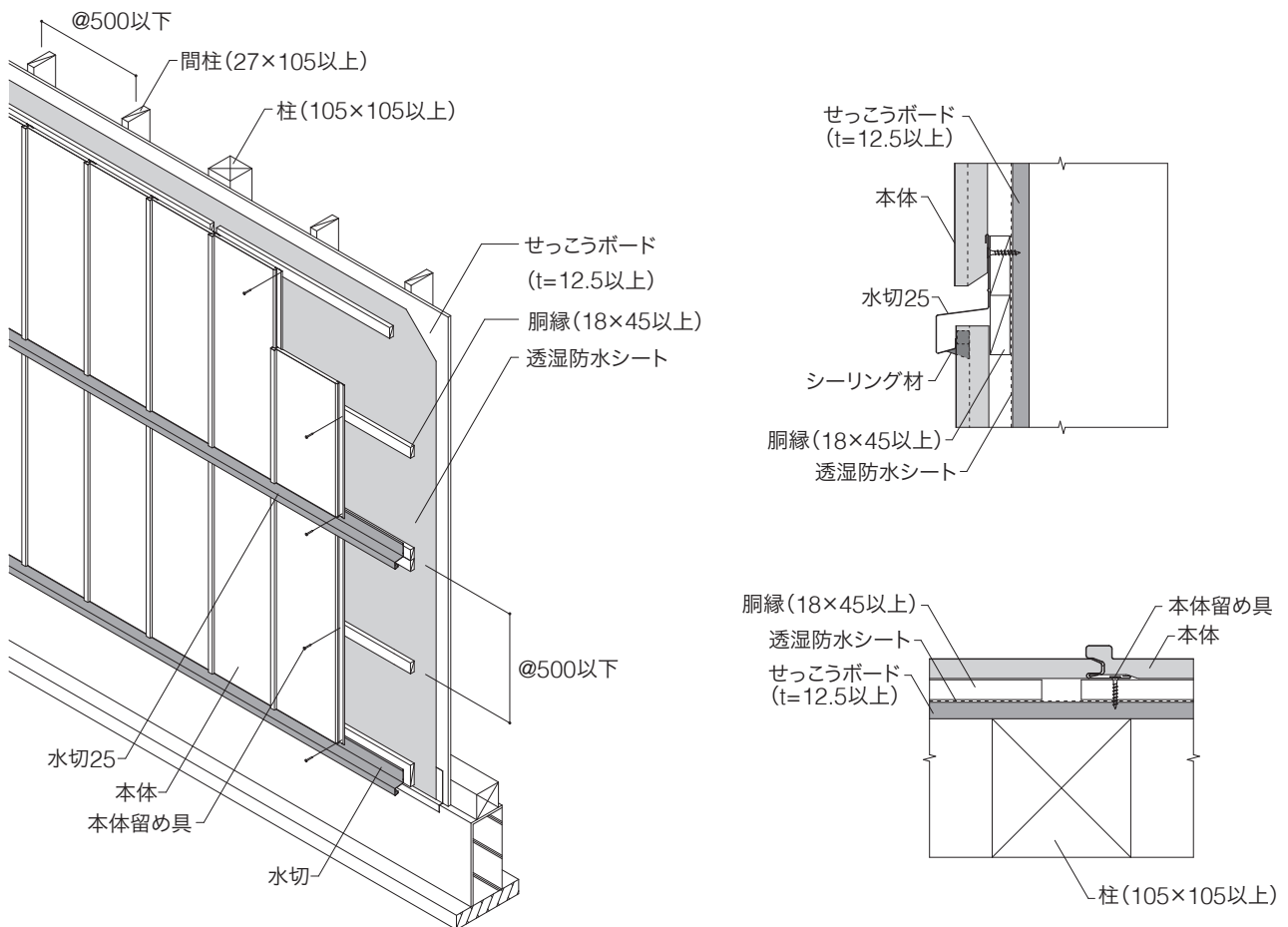
認定番号: QP020BE-0038

準防火

通気

構造用面材としてせっこうボードを使用する場合は、外張断熱材無しで使用できます。
真壁(内装側)にも対応します。

単位:mm



7

防耐火認定

本体留め具	スクリークぎまたはリングくぎ ねじ	φ2.15×L38以上 φ3.1×L22以上		
構造用面材	せっこうボード(JIS A 6901)	厚さ12.5mm以上	<ul style="list-style-type: none"> 構造用面材用留め具 くぎまたはねじ(φ1.90×L32以上) 留め付け間隔 外周部150mm以下、中間部等200mm以下 	せっこうボードの目地部には、せっこうボードメーカーが推奨する目地処理材を施工してください。
内装材	内装フリーに対応しています。			
備考	縦継ぎ部にアルミ縦用スターター25を使用すると防耐火構造認定の対象外となります。			

7. 防耐火認定

木造軸組

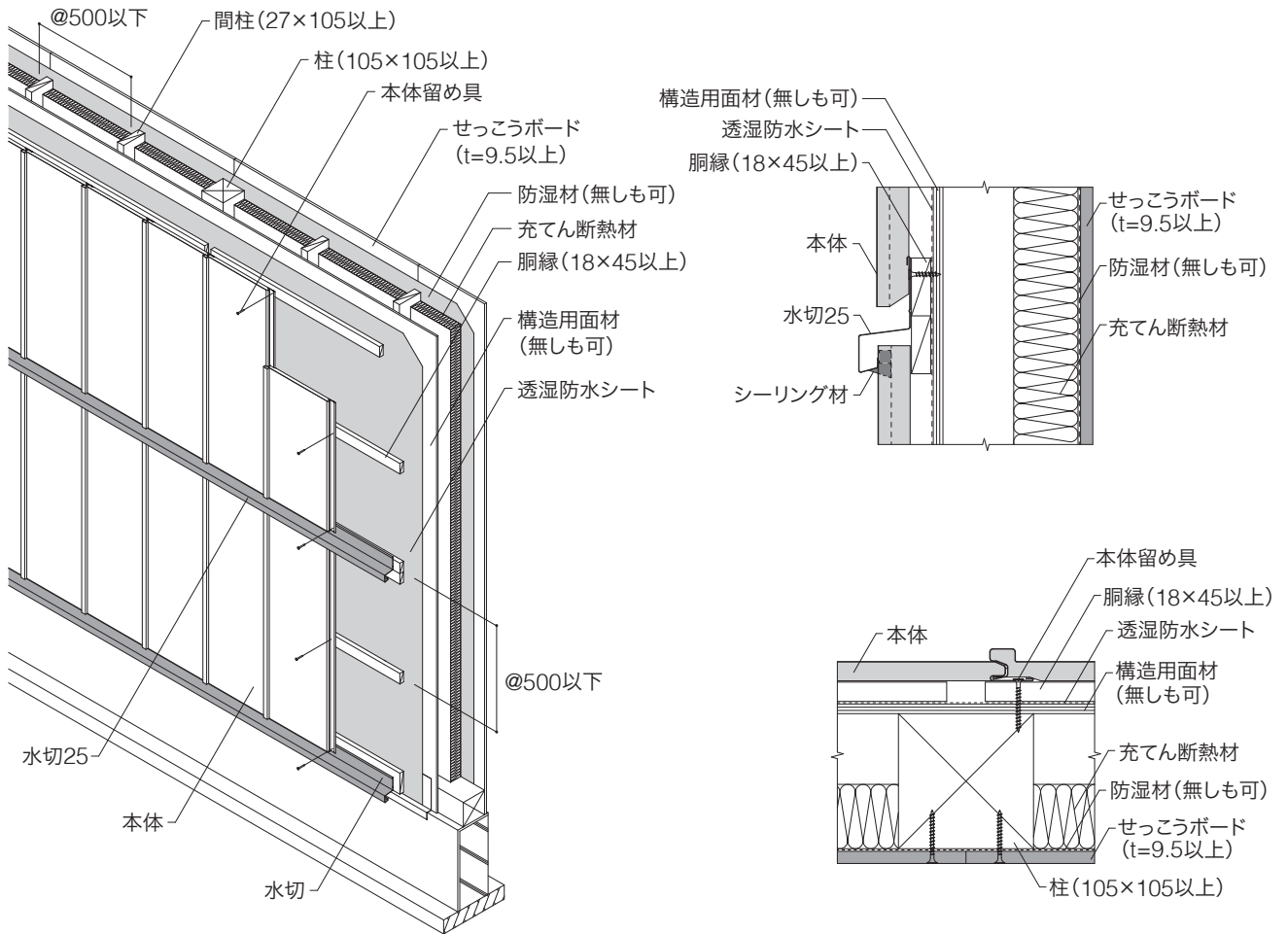
認定番号:PC030BE-0703

防火

通気

充てん断熱 無機繊維系

単位:mm



本体留め具	・スクリューくぎまたはリングくぎ ・ねじ	φ2.15×L38以上		
構造用面材	・なし ・構造用合板 ・構造用パネル(OSB) ・火山性ガラス質複層板 ・MDF など			
充てん断熱材	・グラスウール ・ロックウール	密度10kg/m ³ 以上 厚さ50mm以上		
内装材	せっこうボード (JIS A 6901)	厚さ9.5mm以上	・内装材用留め具 くぎまたはねじ(φ2.34×L38.7以上) ・留め付け間隔 外周部150mm以下、中間部200mm以下	せっこうボードの目地部には、せっこうボードメーカーが推奨する目地処理材を施工してください。
備考	縦継ぎ部にアルミ縦用スターター25を使用すると防耐火構造認定の対象外となります。			

7. 防耐火認定

木造軸組

認定番号:PC030BE-0558

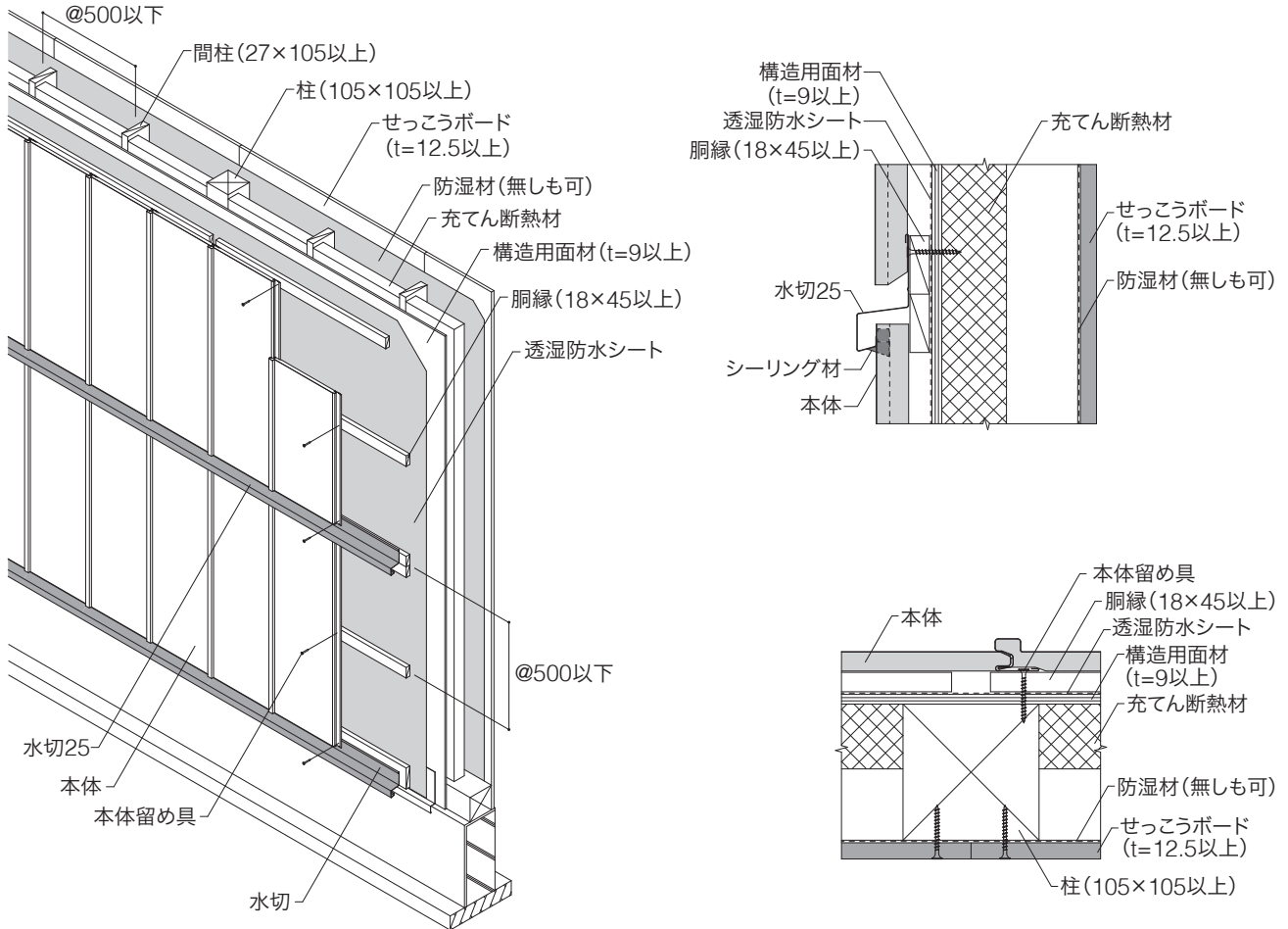
防火

通気

充てん断熱 発泡プラスチック系/無機繊維系

真壁(内装側)にも対応します。

単位:mm



本体留め具	・スクリークぎまたはリングくぎ ・ねじ	φ2.15×L38以上		
外張断熱材	・なし ・フェノールフォーム保温板 ・押出法ポリスチレンフォーム保温板 ・硬質ウレタンフォーム保温板など			
構造用面材	・構造用合板 ・構造用パネル(OSB) ・火山性ガラス質複層板 ・MDF ・パーティクルボード ・せっこうボード(JIS A 6901)など	厚さ9mm以上		
充てん断熱材	・フェノールフォーム保温板 ・吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材 ・押出法ポリスチレンフォーム保温板 ・硬質ウレタンフォーム保温板など	厚さ15mm以上105mm以下 または柱の見込み寸法以下		
	・グラスウール ・ロックウール	密度10kg/m ³ 以上 厚さ50mm以上		
内装材	せっこうボード (JIS A 6901)	厚さ12.5mm以上	・内装材用留め具 くぎまたはねじ(φ2.34×L38.7以上) ・留め付け間隔 外周部150mm以下、中間部200mm以下	せっこうボードの目地部には、せっこうボードメーカーが推奨する目地処理材を施工してください。
備考	縦継ぎ部にアルミ縦用スターター25を使用すると防耐火構造認定の対象外となります。			

7

防耐火認定

7. 防耐火認定

木造軸組

認定番号:PC030BE-0536

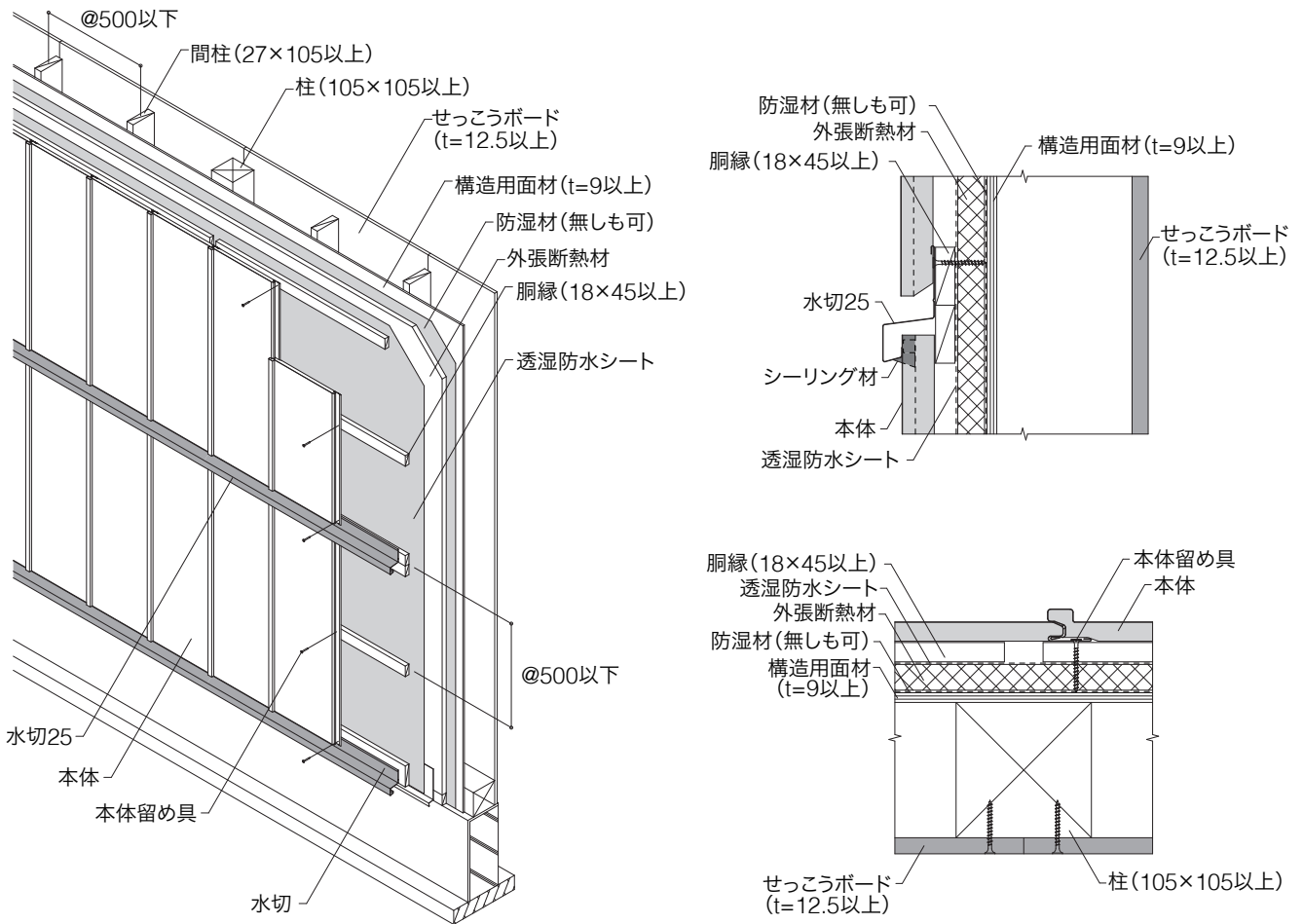
防火

通気

外張断熱

発泡プラスチック系断熱材の外張断熱工法に対応した防火構造認定です。
 充てん断熱材も併用できます。真壁(内装側)にも対応します。

単位:mm



本体留め具	・スクリークぎまたはリングくぎ ・ねじ	φ2.15×L38以上		
外張断熱材	・フェノールフォーム保温板 ・押出法ポリスチレンフォーム保温板 ・硬質ウレタンフォーム保温板など	厚さ15mm以上105mm以下		
構造用面材	・構造用合板 ・構造用パネル(OSB) ・火山性ガラス質複層板 ・MDF ・パーティクルボード ・せっこうボード(JIS A 6901)など	厚さ9mm以上	構造用面材用留め具 くぎまたはねじ(φ1.5×L19以上)	
充てん断熱材	・なし ・フェノールフォーム保温板 ・吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材 ・押出法ポリスチレンフォーム保温板 ・硬質ウレタンフォーム保温板 ・グラスウール ・ロックウールなど			
内装材	せっこうボード(JIS A 6901)	厚さ12.5mm以上	・内装材用留め具 くぎまたはねじ(φ2.34×L38.7以上) ・留め付け間隔 外周部150mm以下、中間部200mm以下	せっこうボードの目地部には、せっこうボードメーカーが推奨する目地処理材を施工してください。
備考	縦継ぎ部にアルミ縦用スター25を使用すると防耐火構造認定の対象外となります。			

木造軸組

認定番号: QF045BE-1658

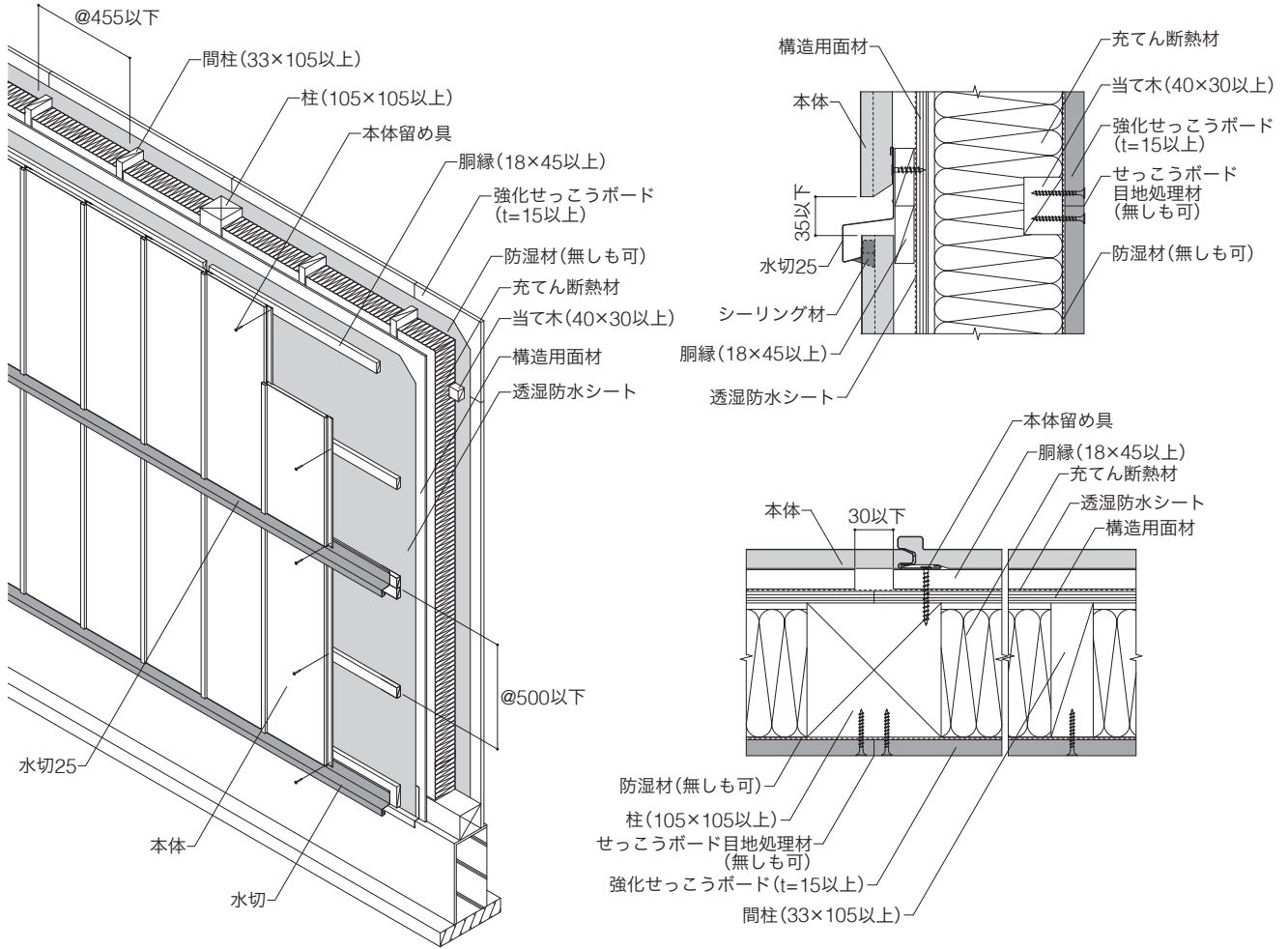
45分準耐火

たて

通気

充てん断熱 無機繊維系

単位: mm



本体留め具	スクリューくぎまたはリングくぎ ねじ	φ2.15×L38以上 φ3.5×L32以上			
構造用面材	・構造用合板 ・構造用パネル(OSB) ・パーティクルボード ・MDF(密度0.7g/cm ³ 以上)	厚さ9mm以上	・構造用面材用留め具 くぎまたはねじ(φ1.9×L32以上) ・留め付け間隔 外周部455mm以下、中間部455mm以下		
	火山性ガラス質複層板 ・木質系セメント板 ・繊維強化セメント板 ・繊維混入けい酸カルシウム板	厚さ9.5mm以上			
充てん断熱材	グラスウール ロックウール	密度16kg/m ³ 以上 厚さ100mm以上			
内装材	単体張りの場合	強化せっこうボード (JIS A 6901)	厚さ15mm以上	・内装材用留め具 ねじ(φ3.8×L32以上) ・留め付け間隔 外周部150mm以下 中間部200mm以下	・強化せっこうボードの横目地には当て木 (40×30以上)を入れてください。 ・強化せっこうボードの目地部には、必要に 応じてせっこうボード目地処理材を施工し てください。
	重ね張りの場合	強化せっこうボード (JIS A 6901)	厚さ12.5mm以上 + 12.5mm以上	・内装材用留め具 [下張り] ねじ(φ3.8×L28以上) [上張り] ねじ(φ3.8×L42以上) ・留め付け間隔 外周部150mm以下 中間部200mm以下	・下張りの強化せっこうボード横目地には当 て木(40×30以上)を入れてください。 ・柱、間柱および当て木に留め付けてくださ い。また、上張りと下張りの目地はお互いに 揃わないよう割り付けてください。上張りの 強化せっこうボードの目地部には、必要 に応じてせっこうボード目地処理材を施工 してください。
備考					

7

防耐火認定

7. 防耐火認定

木造軸組

認定番号: QF045BE-1744

45分準耐火

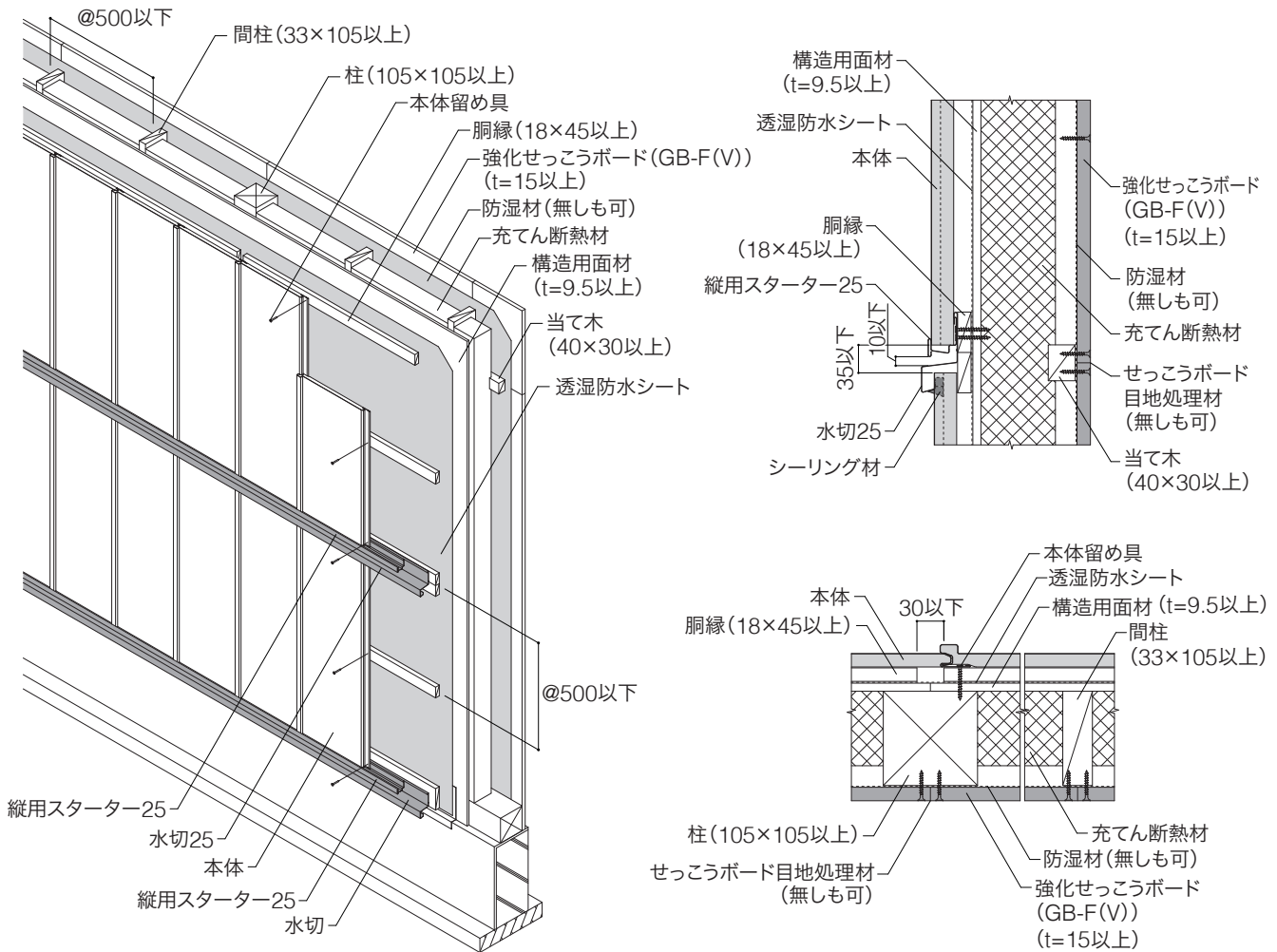
たて

通気

充てん断熱

発泡プラスチック系

単位: mm



本体留め具	スクリューくぎまたはリングくぎ ねじ	φ2.15×L38以上 φ3.5×L32以上			
構造用面材	<ul style="list-style-type: none"> ・ボード用原紙張/ガラス繊維混入せっこう板 (QM-0954-1) [吉野石膏株式会社製 EXハイパー] ・ボード用原紙張/せっこう板 (QM-1040) [チヨダウーテ株式会社製 チヨダ外壁ボード] ・ボード用原紙張/ガラス繊維混入せっこう板 (RM-0059) [吉野石膏株式会社製 EXプログレ] ・両面ボード用原紙張/せっこう板 (NM-4127) [吉野石膏株式会社製 EXボード] など ※耐力壁として使用するには各社の仕様をご確認ください。	厚さ9.5mm以上	<ul style="list-style-type: none"> ・構造用面材用留め具 くぎまたはねじ (φ1.9×L32以上) ・留め付け間隔 外周部333mm以下、中間部333mm以下 		
充てん断熱材	吹付け硬質ウレタンフォーム	厚さ83±8mm	株式会社日本アクア製「アクアフォームNEO (密度32±4kg/m ³)」を使用してください。		
内装材	単体張りの場合	強化せっこうボード (GB-F(V)) (JIS A 6901、不燃材料NM-8615適合品)	厚さ15mm以上	<ul style="list-style-type: none"> ・内装材用留め具 ねじ (φ3.8×L32以上) ・留め付け間隔 外周部200mm以下 中間部200mm以下 	<ul style="list-style-type: none"> ・強化せっこうボードの横目地には当て木 (40×30以上) を入れてください。 ・強化せっこうボードの目地部には、必要に応じてせっこうボード目地処理材を施工してください。
	重ね張りの場合	強化せっこうボード (GB-F(V)) (JIS A 6901、不燃材料NM-8615適合品)	厚さ12.5mm以上 + 12.5mm以上	<ul style="list-style-type: none"> ・内装材用留め具 [下張り] ねじ (φ3.8×L28以上) [上張り] ねじ (φ3.8×L42以上) ・留め付け間隔 外周部200mm以下 中間部200mm以下 	
備考	縦継ぎ部には、水切25と縦用スターター25の施工が必須となります。アルミ縦用スターター25は使用できません。				

7. 防耐火認定

木造枠組

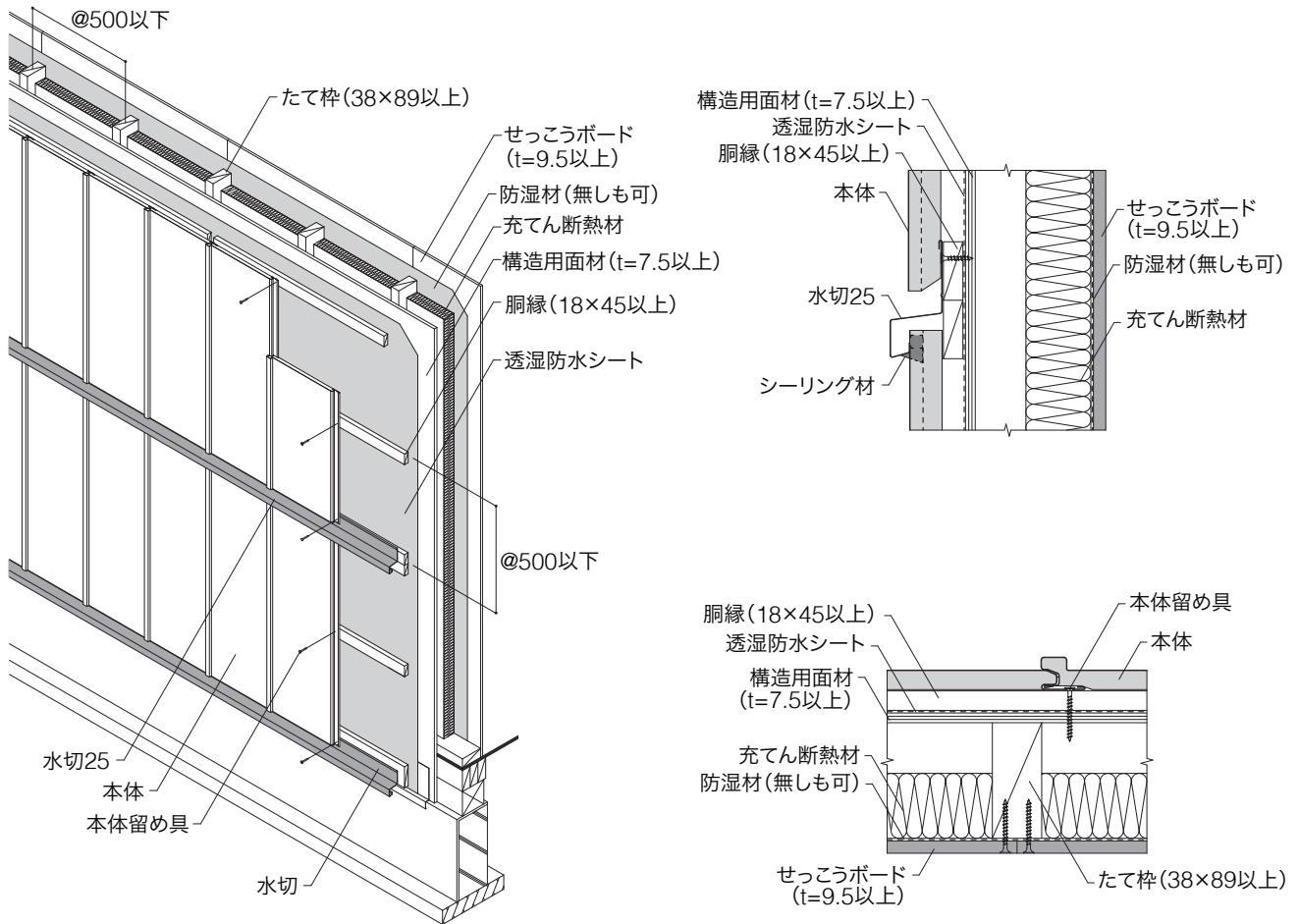
認定番号:PC030BE-0704

防火

通気

充てん断熱 無期繊維系

単位:mm



7

防耐火認定

本体留め具	・スクリューくぎまたはリングくぎ ・ねじ	φ2.15×L38以上		
構造用面材	・構造用合板 ・構造用パネル(OSB) ・火山性ガラス質複層板 ・パーティクルボードなど	厚さ7.5mm以上		
充てん断熱材	・グラスウール ・ロックウール	密度10kg/m ³ 以上 厚さ50mm以上		
内装材	せっこうボード (JIS A 6901)	厚さ9.5mm以上	・内装材用留め具 くぎまたはねじ(φ2.34×L38.7以上) ・留め付け間隔 外周部150mm以下、中間部200mm以下	せっこうボードの目地部には、せっこうボードメーカーが推奨する目地処理材を施工してください。
備考	縦継ぎ部にアルミ縦用スターター25を使用すると防耐火構造認定の対象外となります。			

7. 防耐火認定

木造枠組

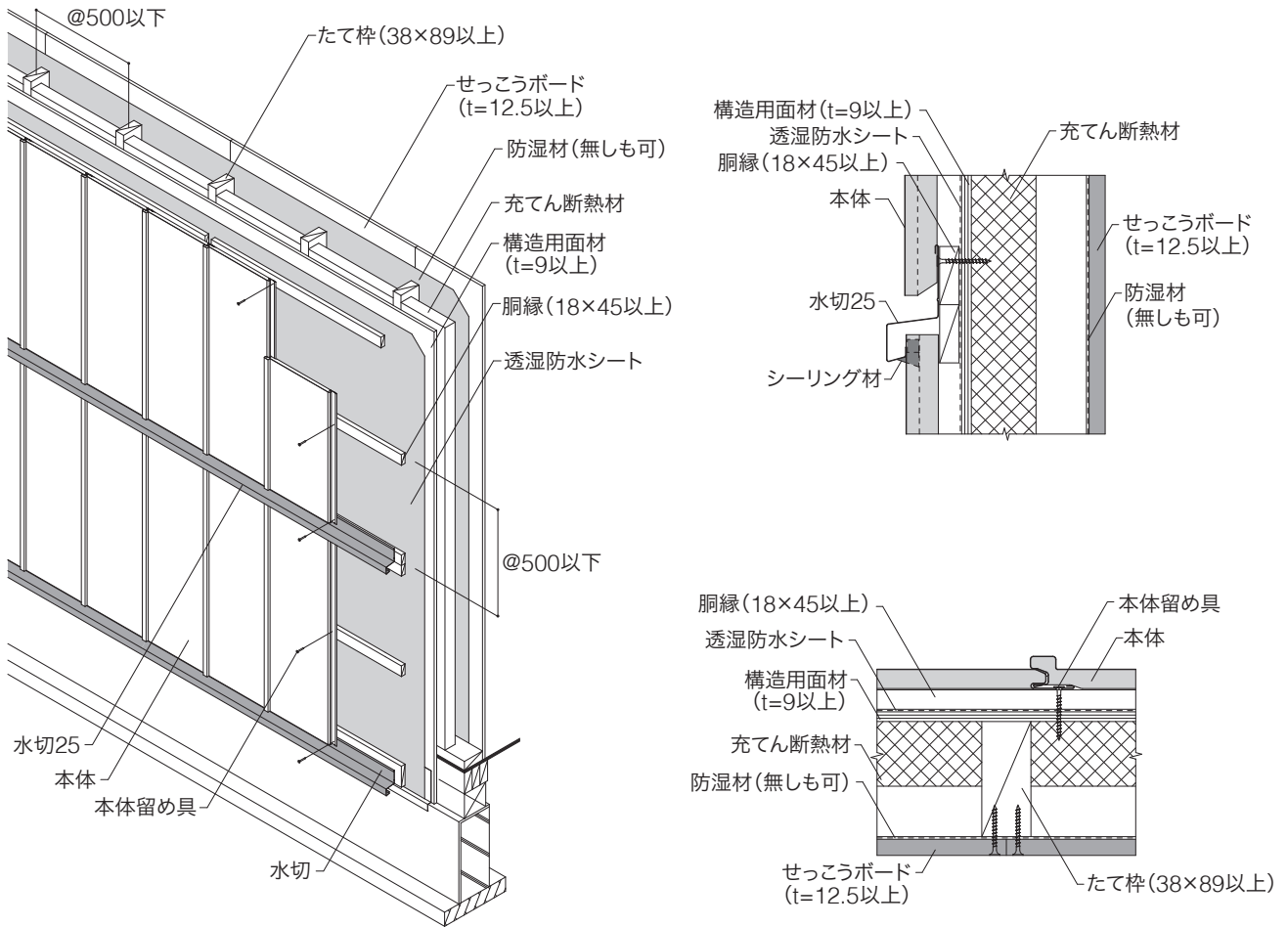
認定番号:PC030BE-0559

防火

通気

充てん断熱 発泡プラスチック系/無機繊維系

単位:mm



本体留め具	・スクリークぎまたはリングくぎ ・ねじ	φ2.15×L38以上		
外張断熱材	・なし ・フェノールフォーム保温板 ・押出法ポリスチレンフォーム保温板 ・硬質ウレタンフォーム保温板など			
構造用面材	・構造用合板 ・構造用パネル(OSB) ・火山性ガラス質複層板 ・MDFなど	厚さ9mm以上		
充てん断熱材	・フェノールフォーム保温板 ・吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材 ・押出法ポリスチレンフォーム保温板 ・硬質ウレタンフォーム保温板など	厚さ15mm以上89mmまたは たて枠の見込み寸法以下		
	・グラスウール ・ロックウール	密度10kg/m ³ 以上 厚さ50mm以上		
内装材	せっこうボード (JIS A 6901)	厚さ12.5mm以上	・内装材用留め具 くぎまたはねじ(φ2.34×L38.7以上) ・留め付け間隔 外周部150mm以下、中間部200mm以下	せっこうボードの目地部には、せっこうボードメーカーが推奨する目地処理材を施工してください。
備考	縦継ぎ部にアルミ縦用スターター25を使用すると防耐火構造認定の対象外となります。			

7. 防耐火認定

木造枠組

認定番号:PC030BE-0537

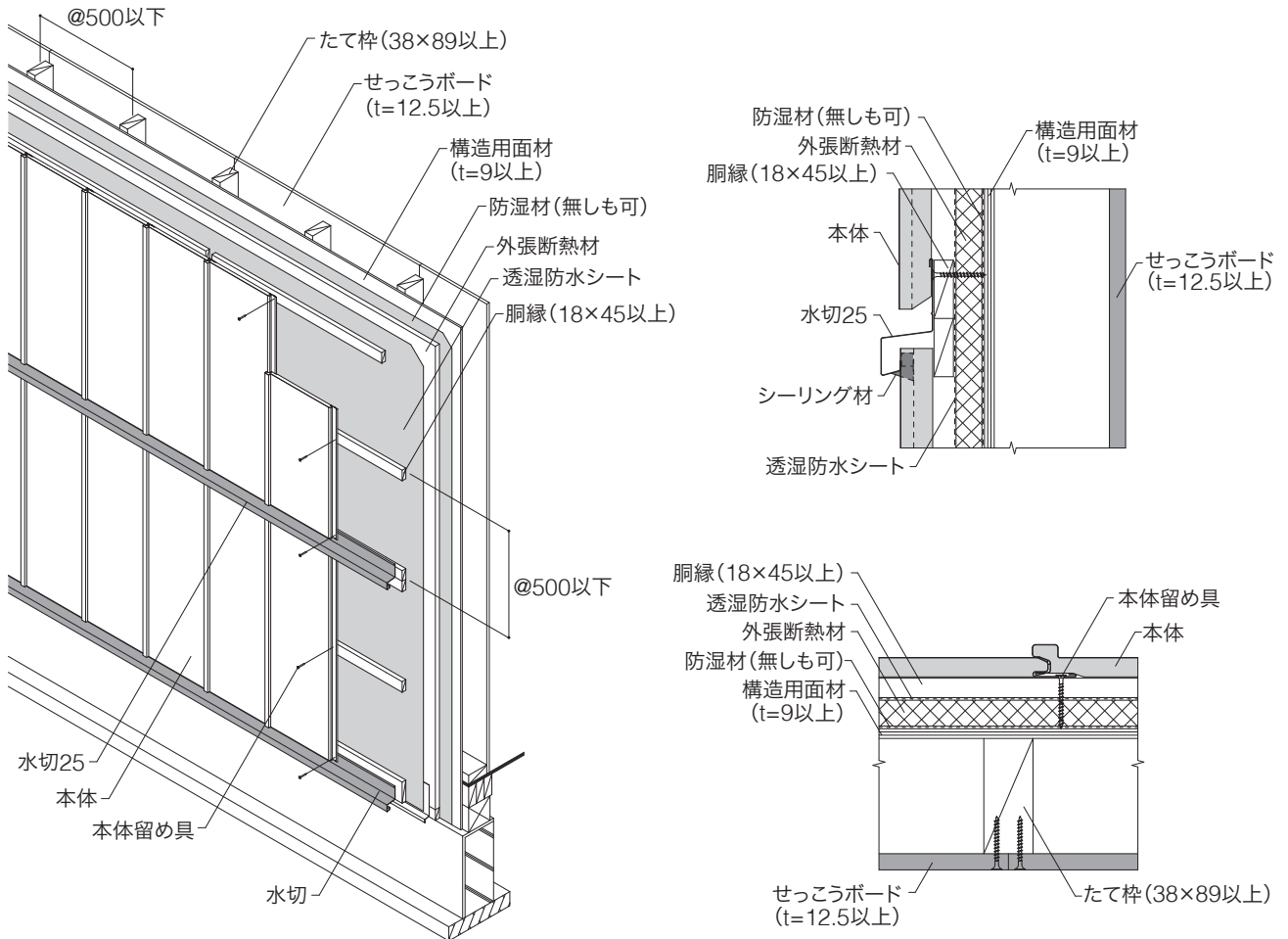
防火

通気

外張断熱

発泡プラスチック系断熱材の外張断熱工法に対応した防火構造認定です。
充てん断熱材も併用できます。

単位:mm



本体留め具	・スクリューくぎまたはリングくぎ ・ねじ	φ2.15×L38以上		
外張断熱材	・フェノールフォーム保温板 ・押出法ポリスチレンフォーム保温板 ・硬質ウレタンフォーム保温板など	厚さ15mm以上105mm以下		
構造用面材	・構造用合板 ・構造用パネル(OSB) ・火山性ガラス質複層板 ・パーティクルボードなど	厚さ9mm以上		
充てん断熱材	・なし ・フェノールフォーム保温板 ・吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材 ・押出法ポリスチレンフォーム保温板 ・硬質ウレタンフォーム保温板 ・グラスウール ・ロックウールなど			
内装材	せっこうボード (JIS A 6901)	厚さ12.5mm以上	・内装材用留め具 くぎまたはねじ(φ2.34×L38.7以上) ・留め付け間隔 外周部150mm以下、中間部200mm以下	せっこうボードの目地部には、せっこうボードメーカーが推奨する目地処理材を施工してください。
備考	縦継ぎ部にアルミ縦用スター25を使用すると防耐火構造認定の対象外となります。			

7

防耐火認定